

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

紫波町学校支援活動事業の成果と課題(岩手県紫波町)

取組事業

学校支援活動事業

活動実施場所

紫波第一中学校、赤石公民館、勤労青少年ホーム、中央公民館 ほか

取組概要

【学校支援活動事業】（対象：紫波第一中学校1年生）

◎学社融合事業

地域で活躍する方を講師に、中学生が多様な文化活動や体験活動を通して、地域住民と交流する取組を開催した。主な活動場所は紫波第一中学校で、その他公民館など6会場でも実施した。午前9時から3時間、講師・ボランティアと共に各活動に取り組んだ。

(活動事例) ○郷土食講座(ひつつみ・きりせんしょ) ○そば打ち体験 ○陶芸講座 ○スポーツ吹矢 ○自然・歴史散策
○茶道体験 ○ハーブ活用講座 ○尺八・琴講座 ○着付け講座 ○スポーツチャンバラ ○IT講座
○地図の歴史と作り方講座 ○トールペイント体験 等



事業成果

【学校支援活動事業】

◎学社融合事業(全14講座 対象：紫波第一中学校1年生228名)

- ・郷土食や紫波町の歴史といった地域の特色を生かした講座を開催し、中学生が地元の大人との交流を通して、地域活動を知り、地域とつながるきっかけになっている。
- ・講師以外にも、地域の方が多数参加し、講座のサポートを担いながら、中学生と交流することができている。文化活動や体験活動に取り組むことにより、自主性や主体性、コミュニケーション能力の育成の一助となっている。

講座	練功・スポーツチャンバラ	尺八・琴	郷土食	歴史・山野草	お茶会	ハーブ	着付け
人数	19	16	20	26	8	13	12
講座	トールペイント	陶芸	IT	そば打ち	きりせんしょ・がんづき	スポーツ吹矢	地図の歴史と作り方
人数	10	13	10	20	20	26	15

課題や今後の取組

(今後の取組)

- ・学社融合事業は現在、年に一度のみの開催。事業成果の定着をはかるため、開催回数を増やすことで、より多くの活動を行う機会を設けたい。

(課題)

- ・地域の講師の中には、指導方法に悩む方や、生徒との関わり方に慣れていない方もいるため、コーディネーターのサポートが必要である。